

(題字：福島商業高等学校 総合文化同好会 2年 永島 凜さん)



- 町議会定例会1月会議 P 2
- 町議会定例会3月会議 P 3
- 町議会定例会3月第2回会議 P 5
- 各議案の審議結果 P 6
- 夜間議会 P 8
- 全国町村議会議長会による議員表彰 ほか P 10
- 総務教育常任委員会レポート P 12
- 経済福祉常任委員会レポート P 13
- 連合審査会レポート ほか P 14
- 広報広聴常任委員会レポート P 15

- 予算審査特別委員会 P 16
- 議会諮問会議 P 19
- 文書質問 ほか P 20
- 町議会定例会4月会議 P 21
- 会議等出席状況 P 22
- 議会評価 P 24
- 議員活動の自己評価・目標 P 26
- 町民と議員との懇談会 P 35
- 町民の声 ほか P 36

## ふくしま

2年 湊 由季さん

## ふくしま ふくしま

2年 木村 汐理さん 1年 石岡 優さん

## ふくしま ふくしま

1年 野坂 紗月さん 1年 蛸子 叶夢さん

## 記録的な大雪、除排雪費用(8千万円)を追加! (除雪費の総額 1億4千548万5千円)

町議会定例会1月会議は、1月31日に開会し、同日休会しました。会議では、議案2件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。会期中の参画者は1名でした。

町議会定例会

1月会議

### 補正予算

令和3年度一般会計補正  
予算(第7号)

#### ● 新型コロナウイルス接種 種事業費

3回目のワクチン接種会場の除排雪業務委託料や暖房機購入費用の増額

201万2千円追加

#### ● 町出身学生応援事業費

子弟が大学等に在学している保護者へ給付

650万円

#### ● ふるさと応援運営費

ふるさと納税の増による諸経費増額

1千210万円追加



ふるさと納税返礼品「海峡マグロ」

#### ● 臨時特別給付金事業費 住民税非課税世帯等に対する臨時給付金

1億2千713万円

#### ● 元氣プロジェクト事業費

岩部交流センターのウッドデッキ増設、岩部クルーズ乗船者へプロジェクトサービスの実施

1千200万円追加

#### ● 道路維持費

大雪による除排雪費用の増額

8千万円追加



1月20日の大雪(役場庁舎前)

単位：千円

補正額	補正後の 予算総額
293,738	4,780,174



### 議会からの提出議案

議会基本条例諮問会議案  
例の一部改正

意見をより広く聴取するため、委員定数を10人に拡大し、顧問を設置できるよう、条例の一部を改正。

### 議員辞職

花田勇議員の議員辞職

令和4年1月25日付けで提出された議員辞職願の許可を決定。

## 会議配信や過去の会議資料をご覧いただけます

町議会ホームページにおいて、各会議の生配信や、過去の会議資料・映像をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

なお、ご意見やご感想もお待ちしております。議会事務局議事係までお気軽にご連絡ください。

<https://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

✉ [gikai@town.fukushima.hokkaido.jp](mailto:gikai@town.fukushima.hokkaido.jp) ☎ 0139-47-2215



# 令和4年度各会計予算を原案可決！

町議会定例会3月会議は、3月8日に開会し、11日に休会しました。会議では、議案33件、同意9件、発委2件、諮問2件を審議したほか、各会計の新年度予算は予算審査特別委員会に付託のうえ審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

会期中の参画者は2名でした。

\* 予算審査特別委員会の内容は、16ページに掲載しております。

## 町議会定例会 3月会議

### 条例の制定・改正 ・廃止

押印手続きを見直しし  
関係条例を整理

国が示した押印見直しに  
関する方向性に合わせ、5  
条例を改正。

- 公告式条例
- 固定資産評価審査委員  
会条例
- 職員のサービスの宣誓条例
- 学校職員のサービスの宣誓条例
- 火入れ条例

### 定住向け町有住宅条例の 制定

定住向け町有住宅の入居  
要件・家賃を定める条例を  
制定。

### まちづくり基本条例の一 部改正

民法の改正により成年年  
齢が満18歳以上に引下げら  
れたことから、条例の一部  
を改正。

### 町内会館管理条例の一部 改正

令和4年3月までに整備  
が完了した町内会館の名称  
を統一するため、条例の一  
部を改正。



三岳2町内会館のオープンセレモニー

### 監査委員条例の一部改正

地方自治法の改正により、  
監査委員の議員選出が緩和  
されたことから、監査委員  
を議員から選任しない規定  
を加えるため、条例の一部  
を改正。

### 職員の育児休業等に関する 条例の一部改正

人事院より「国家公務員  
の妊娠・出産・育児等と仕  
事の両立支援のために講じ  
る措置」が示されたことから  
非常勤職員（会計年度任用  
職員）の育児休業取得要件  
緩和等を図るため、条例の  
一部を改正。

### 特別職の職員で非常勤の 者の報酬・費用弁償に関 する条例の一部改正

特別職で非常勤の者の年  
額報酬・月額報酬の改正、  
月額支給委員から議会選出  
の監査委員を削除するため、  
条例の一部を改正。

### 水道事業給水条例の一部 改正

水道料金「家事用」の料  
金体系を、使用水量に応じ  
て2本に細分化（3.0mまで  
960円、8.0mまで1千920円）  
するため、条例の一部を改正。

### 国民健康保険税条例の一 部改正

国民健康保険法施行令の  
一部改正政令の公布により、  
国に準じて国民健康保険税  
の基礎課税分・後期高齢者  
支援金等分の賦課限度額を  
引上げするため、条例の一  
部を改正。

### 学校給食共同調理場設置 条例の一部改正

福島商業高等学校へ学校  
給食を提供できるようにす  
るとともに、学校給食セン  
ター運営委員会の定数を  
変更するため、条例の一部  
を改正。



提供された学校給食を食べる高校生

伊能忠敬北海道測量開始  
記念碑建設基金条例等の  
廃止

- 次の条例を廃止しました。
- 伊能忠敬北海道測量開始記念碑建設基金条例
- がんばる地元企業等応援基金条例

## 計画等の変更

### 第5次総合計画の変更

令和4年度の予算編成により事業の見直しや変更、追加があったため、後期実施計画の一部を変更。  
変更後の総事業費は63億9千410万円です。

### 福島町森林整備計画の変更

北海道が定めた森林整備計画と整合性を図るため、計画の一部を変更。

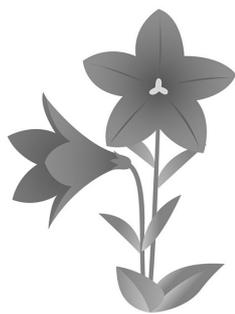
### 第2期福島町人口ビジョン ・総合戦略の変更

福島商業高等学校の魅力化を推進するため、国の「地方創生拠点整備交付金」を有効活用し、全国から多様な若者を受け入れる拠点施設として、青少年交流センターを整備する等、青少年交流・人材育成拠点施設整備事業を追加。

## 指定管理者の指定

### 福島町温泉健康保養センター

- 指定管理者  
一般社団法人  
福島町まちづくり工房  
代表理事 平野 松寿
- 指定期間  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで



### 福島町製氷貯氷施設

- 指定管理者  
福島吉岡漁業協同組合  
代表理事組長 阿部 国雄
- 指定期間  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

### クルーズ船運航業務等

- 指定管理者  
一般社団法人  
福島町まちづくり工房  
代表理事 平野 松寿
- 指定期間  
令和4年4月1日から令和9年3月31日まで



みなみ北海道の秘境を巡る岩部クルーズ  
(一般社団法人福島町まちづくり工房提供)

## 補正予算

令和3年度一般会計・特別会計補正予算

不用となった予算の減額等を行い、次のとおり補正。

単位：千円

会計名	補正額	補正後の予算総額
一般会計（第8号）	△ 80,201	4,699,973
一般会計（第9号）	386,700	5,086,673
国民健康保険特別会計（第4号）	△ 52,777	751,670
介護保険特別会計（第3号）	△ 10,550	547,685
後期高齢者医療特別会計（第3号）	△ 2,977	73,307
浄化槽整備特別会計（第3号）	△ 3,169	62,818
国民健康保険診療所特別会計（第4号）	△ 1,231	97,146
水道事業会計（第4号）	△ 13,408	230,756

## 議会からの提出議案

押印見直しに伴う関係条例の整理

全国町村議会議長会の「押印を必要とする書式の見直し」に基づき、2条例を改正。

- 議会議員研修条例
- 政務活動費交付条例

ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、撤退を求める決議

ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、政府において厳格な制裁措置と無条件完全撤退に向けた早急な外交努力を展開することを要請する決議。

## 報告

一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告

追跡調査に対応する方針等の報告がありました。

## 基金の処分

財政調整基金の積立金の処分

令和4年度当初予算の財源として、4億円を一般会計へ繰入。

## 同意・諮問

固定資産評価審査委員会の選任

石倉正史氏の選任に同意。

農業委員会委員の選任

佐藤孝男氏、本庄喜美雄氏、今井隆氏、工藤昭一氏、久野寿蔵氏、山本幸子氏、管藤光男氏の選任に同意。

人権擁護委員の推薦

花田春夫氏、丁子谷雅男氏が適任である旨を答申。

監査委員の選任

高田重美氏の選任に同意。

町議会定例会

3月  
第2回  
議会

## 私立幼稚園教諭の処遇改善へ国の支援！

町議会定例会3月第2回会議は、3月29日に開会し、同日休会しました。会議では、議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

## 補正予算

令和3年度一般会計補正予算(第10号)

### ● 一般管理費

車両損害の発生による賠償金の増

39万5千円追加

### ● 公共施設維持保全基金費

国からの特別交付税が確定したことにより財源調整した分を基金へ積立て

5千万円追加  
ほか

令和4年度一般会計補正予算(第1号)

### ● 児童措置費

私立幼稚園教諭の処遇改善へ国から負担金支援

71万2千円追加



単位：千円

会計名	補正額	補正後の予算総額
令和3年度一般会計(第10号)	△ 50,452	5,137,125
令和4年度一般会計(第1号)	712	4,271,405



## 専決処分の報告

事故に係る和解、損害賠償の額の決定

町営住宅三岳団地屋根からの落雪による車輛破損事故の和解が成立し、損害賠償の額が確定した旨の報告。

## 議会事務局の人事異動

令和4年3月31日付け

- 再任用の任期満了に伴う退職  
(議事係主査) 中島 和俊

令和4年4月1日付け

- 町長部局より出向  
議事係主事 大山 瑞稀  
(企画課企画係兼広報広聴係)

令和4年度の事務局体制

事務局長 鍋谷 浩行  
議事係長 福井 理央  
議事係 大山 瑞稀  
会計年度任用職員 熊谷 治子

# 各議案の審議結果



定例会3月会議採決の様子

- ・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案	議員名								審査結果	
			花田 勇	佐藤 孝男	平沼 昌平	木村 隆	川村 明雄	杉村 志朗	藤山 大	小鹿 昭義		平野 隆雄
1月会議 (1月31日)	41	令和3年度一般会計補正予算(第7号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	発委7	議会基本条例諮問会議条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月会議 (3月8日 ~11日)	42	押印手続きの見直しに伴う関係条例の整理	△	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	43	定住向け町有住宅条例の制定	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	44	まちづくり基本条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	45	町内会館管理条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	46	監査委員条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	47	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	48	特別職の職員で非常勤の者の報酬・費用弁償に関する条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	49	国民健康保険税条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	50	学校給食共同調理場設置条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	51	水道事業給水条例の一部改正	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	52	伊能忠敬北海道測量記念碑建設基金条例等廃止	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	53	第5次総合計画の変更	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	54	森林整備計画の変更	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	55	第2期人口ビジョン・総合戦略の変更	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	56	令和4年度一般会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
	57	令和4年度国民健康保険特別会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○	
58	令和4年度介護保険特別会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○		
59	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○		
60	令和4年度浄化槽整備特別会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○		
61	令和4年度国民健康保険診療所特別会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○		
62	令和4年度水道事業会計予算	△	○	○	○	○	○	○	○	○		

会議名	議案番号	議 案	議 員 名								審査結果
			花田 勇	佐藤 孝男	平沼 昌平	木村 隆	川村 明雄	杉村 志朗	藤山 大	小鹿 昭義	
3月会議 (3月8日 ～11日)	63	財政調整基金積立金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	64	令和3年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	65	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	66	令和3年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	67	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	68	令和3年度浄化槽整備特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	69	令和3年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	70	令和3年度水道事業会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	71	指定管理者の指定(温泉健康保養センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	72	指定管理者の指定(製氷貯氷施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	73	指定管理者の指定(クルーズ船運航業務等)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	74	令和3年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告7	議会一般質問等答弁事項進捗状況調査の報告	採決はありません								報告 済み
	同意2	固定資産評価審査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
同意 3～9	農業委員の選任(7名)	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意10	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 適任	
諮問 1・2	人権擁護委員の推薦(2名)	○	○	○	○	○	○	○	○		
発委8	押印手続きの見直しに伴う関係条例の整理	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決	
発委9	ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、撤退を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○		
3月 第2回 会議 (3月29日)	75	令和3年度一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	76	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	77	令和4年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告8	専決処分した事件の報告について	採決はありません								報告 済み
4月会議 (4月25日)	1	町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	2	町道の路線認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	3	令和4年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決



令和4年度第1回議会基本条例諮問会議に出席した委員の皆さん

# 夜間議会一般質問



3月8日、午後6時より夜間議会を開催しました。

当日は3名の議員から3問の一般質問があり、町の対応や考え方をたしました。当日の参画者は4名でした。



藤山 大 議員

問

記録的な大雪、除排雪の町有地利用を無償で

答

一定程度は容認、有償で臨時的な貸付も可能

## 藤山議員

今年度は、過去最大の除排雪経費を要した昨年度を上回る記録的な降雪量であり、雪の排雪場所が足りないことに、町民は大変困っている。

町有地への除排雪を無償でお願いしたいが、町長の考えを伺い、4点について確認する。

- ①除排雪のルールとマナー
- ②町有地は月単位でも貸付できるのか
- ③1㎡あたりの町有地貸付金額
- ④除排雪のみならず、臨時的に夏場等の作業場（コンブ干場等）、駐車場として貸付できるのか

## 鳴海町長

近隣の住民が町有地等へ排雪することは、町内の狭隘な土地事情等を考慮し、一定程度容認しているが、大型重機等を使用する場合は、町へ相談していただくこととしている。

確認事項については、

- ①車道や歩道への雪出しの禁止、車道への路上駐車禁止、除雪車に近づかない等のルールがある。
- ②月単位のほか日割りや年単位でも貸付可能。
- ③場所や地目によって異なるが、原則として1㎡あたりの近傍類似評価額に4%を乗じた額が貸付単価となる。
- ④臨時的な貸付は可能だが、有償での貸付が原則。

読めば読むほど  
詳しくなれる！

## すゝめコラム ①

### 今年度の降雪量は？

令和3年12月には120cm、令和4年1月には275cmの降雪量となり、特に1月19日深夜から20日の昼頃までは、70cmを超える記録的な大雪となりました。

今シーズンの降雪量（533cm）は昨年度（365cm）を上回りました。

\* 過去最高記録は、平成23年度の672cmです。



川村 明雄 議員

問

障害者の雇用促進について町の考えは

答

希望や能力に応じて社会参画できる「共生社会」の実現に努める

## 川村議員

障害者の雇用促進等は、国の法律に基づき各自自治体が行っているところ。町、町内企業における雇用率の状況は。

町雇用について、職員全体の理解度は高くあるべきだが、周知や対策はどうか、庁舎内や公共施設等において、支障なく移動・業務遂行できる体制になっているか。

今後、各企業で働ける障害者に優しく住み良い町づくり対策を検討してはどうか。

令和4年度の会計年度任用職員募集に障害者の記載はないが、今後募集計画を検討してはどうか。町長の考えを伺う。

## 鳴海町長

昨年調査時点での福島町役場の障害者実雇用率は4.52%。町内企業における雇用率は把握していない。

職場環境対策として、役場・吉岡支所においてはバリアフリー構造を取り入れ、エレベーターや障害者トイレなどを整備しており、支障なく移動できる環境となっている。総合体育館等の公共施設においても、玄関前スロープや障害者トイレを設置する等、順次改修している。

会計年度任用職員では障害者枠を設けていないが、健常者または障害者に関わらず応募できることとしている。

障害者雇用制度の理念のもと、障害に関係なく、希望や能力に応じて、誰もが職業を通じて社会参画できるような「共生社会」の実現に努めていく。



平沼 昌平 議員

問

町政・教育行政執行方針の執行状況と反省点は

答

鳴海町長 「おおむね達成。全町民の住民福祉の推進を目指す」  
小野寺教育長 「3つの課題あり。  
地域の方々の幸福のために教育行政を推進する」

## 平沼議員

令和3年度の町政・教育行政執行方針の執行状況と反省点について、町長と教育長に伺う。

令和3年度も新型コロナウイルスに翻弄された一年であったが、当町においてはいち早く感染予防や衛生管理、防止対応を徹底していただいたおかげで感染者を多く出すことなく現在に至っていると考えている。教育行政においても、コロナ禍の中、学びを止めない姿勢を推進し、対応されていることに敬意を表す。

町政・教育行政執行の完成度は高いものであったのか。町民に対して思いやりのある行政、心のこもった教育行政ができたのか、見解を伺う。

新年度に向けて町民の協力と理解をいただき、さらに飛躍した福島町をつくるためにはどのようにすべきか。ともに、住んで良かった、住み続けたい町を目指す、行政トップのご意見を伺う。



町職員による庁舎内消毒作業

## 鳴海町長

町政執行方針に掲げた「7つの目標」を実現するための施策は、**おおむね達成できている**と感じている。

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、政策の変更を余儀なくされたものもあるが、町民の感染予防に重点を置き、徹底した感染予防対策や早期のワクチン接種など、議会と町民の皆様のご理解のもと、一定程度の成果につながっている。

**がんの検診率など目標に達しないものもあり、令和4年度に向けた課題と認識している。**

住んで良かった、住み続けたい町を目指すには、全ての町民が問題意識を持ち、目標の実現に向けて町民と行政が力を合わせ、知恵を出し合い、助け合いながら、一人ひとりが小さな町づくりを実践することによって、大きなまちづくりにつながるものと考えている。

令和3年度の執行状況を検証し、令和4年度町政執行方針の実現に向けて、職員一丸となって取り組みを進め、**町民の住民福祉の増進を目指したい。**



庁舎前を彩る桜

## 小野寺教育長

教育行政には、**3点の大きな課題**があった。

1点目は、2年以上に及ぶコロナ禍の中、**学校運営をいかに継続させていくか**。各学校において運営方法に工夫を凝らし、「**学びを止めない**」という合言葉のもと、全力を挙げて取り組んできた。リモート学習やタブレット端末の家庭への持ち帰り等、**ICT教育が大きく前進したことも成果**と考えている。

2点目は、**吉岡小学校のあり方**。児童と保護者、地域の方々とは真摯な話し合いを行い、**校区の方々**に寄り添った判断を導き出すことに努力してきた。

3点目は、**福島商業高校の魅力化**。福島中学校との連携や教育課程の魅力化を支援するとともに、関係者と意思疎通を図り、**全道・全国募集に向けた環境整備に努めている**。

昨年8月に水難事故により尊い生命が失われたことは、**重大な反省すべき点**であり、**令和4年度に事故防止のための実技や講座を開催していく**。

**議会や町民に対する情報提供の在り方も課題**である。早めの対応やホームページでの情報提供などを改善したい。

町民の皆様との対話が重要であると感じた一年であった。地域の方々が望むことや期待することを的確に把握し、費用対効果を検討しながら、将来に希望が持てる施策の立案が重要であると感じた。

関係各位のご理解をいただき、職員とのコミュニケーションを円滑に取り、自覚をもって職務に取り組める環境づくりが重要と考えている。

今後も福島町の子どもたちを思い、**地域の方々の幸福のために教育行政を推進していく**。

教えて！

## ぎかいのコトバ 夜間議会とは？

日中は、仕事などで参画（傍聴）できない方がおりますが、より多くの方に町政や町議会を知ってもらうため、年に1回、定例会3月会議において『夜間議会』を開催しています。

定例会、各委員会等については、議会議場参画のほか、インターネット、役場1階ロビーにおいても議会の様子を中継配信しています。

次回開催の際は、お気軽にお出でください！

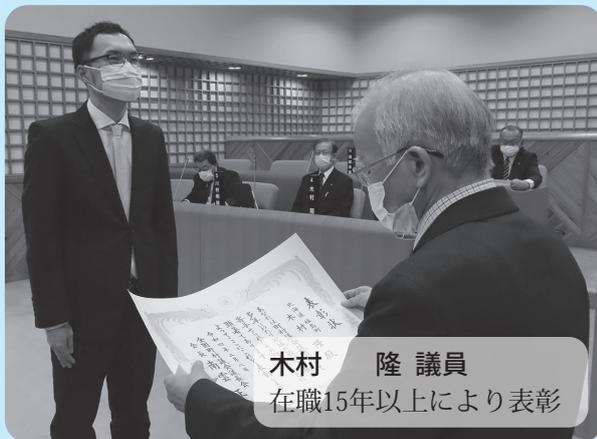


## 全国町村議会議長会による議員表彰

全国町村議会議長会より、2名の議員が自治功労者として表彰されたことから、3月8日、定例会3月会議の開会前に、溝部議長より表彰状が伝達されました。



佐藤 孝男 議員  
在職27年以上により表彰



木村 隆 議員  
在職15年以上により表彰

### ？ どんな議員が表彰されるの？

全国町村議会議長会表彰規定に基づき、次のいずれかに当てはまる議員が表彰されます。

- 議員として15年以上在籍
- 議員として27年以上在籍
- 議員として50年以上在籍
- 議長として7年以上在籍

## 町村議会広報全国コンクール奨励賞を受賞

全国町村議会議長会主催『第36回町村議会広報全国コンクール』の言語・文章部門において、「議会だよりふくしま 第130号」が奨励賞を受賞しました。

全国コンクールは、議会広報誌の編集技術の向上と、紙面内容の充実を目指して行われているもので、今回は317紙の応募がありました。

今後もより読みやすく親しみやすい紙面の作成に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。



# 総務教育常任委員会レポート

— 令和4年2月8日調査 —

委員長 川村 明雄  
副委員長 平野 隆雄  
委員 木村 隆  
杉村 志朗  
溝部 幸基

## 調査事件 8

### 行政手続きの簡素化

(押印廃止・提出不要・電子メール活用等)

❗ 町から、国の見直し指針等に基づく押印見直しに当たっての基本的な考え方が示されたので、内容を調査しました。

#### 「ワンストップ窓口」「書かない窓口」の検討を！

押印の見直しに当たっての基本的な考え方については一定の理解をしたが、町民の利便性向上、窓口業務効率化の視点から、行政手続き（特に出生・死亡・転居・転出等に関連するもの）を一か所で完了できる「ワンストップ窓口」をさらに進め、申請書不要、複数手続きの一括処理による「書かない窓口」の設置について検討されることを強く望む。



## 調査事件 9

### 青少年交流センター整備事業

(その他所管に関する事項)

❗ 町から、青少年交流センター整備事業の概要等について資料が提示されたので、内容を調査しました。

#### 落雪対策の再考、建設費の抑制を！

示された概要等については一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

##### ● 情報発信と想定する受け入れ事業

全国、全道の生徒を呼び込むために1日も早い情報発信に努めるとともに、想定している受け入れ7事業の実現に向けて、教育委員会を中心に全庁連携を密にし、実施体制を整備されたい。

##### ● 施設の管理体制とルール作り

施設の管理人員は慎重に選任するとともに、施設内でのインターネット利用や門限について、教育面に配慮したルール作りが必要です。

##### ● 建設費の抑制

工事費の概算が、当初の2億5千万円より約1億円増となっており、上昇幅が大きすぎるものが憂慮される、建設費の抑制に向け、設計委託業者と十分協議されたい。

##### ● 落雪対策としての施設配置の再考

管理棟と個室棟の間隔が2m40cmとなっておりますが、屋根の形状等により、落雪や除排雪の対応が困難と想定される。

雪止め設置の説明、対策では不十分であり、屋根の形状や施設配置を再考すべきと思慮する。

# 経済福祉常任委員会レポート

— 令和4年2月21日調査 —

委員長 佐藤 孝男  
副委員長 藤山 大  
委員 平沼 昌平  
小島 昭義  
平野 隆雄  
溝部 幸基

## 調査事件13

## アワビ陸上養殖の進捗状況と今後の見込み

！ 町から、養殖事業の進捗状況と今後の見込みについて資料が提示されたので、内容を調査しました。

### 人的・検証体制の整備と積極的な販路拡大を！

進捗状況については一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

#### ● アワビ施設の職員体制

事業を牽引してきた水産アドバイザーが退任することから、関係機関と十分連携し、今後の事業展開における人的・検証体制をしっかりと構築されたい。

#### ● 取水の確保対策

荒天時の予備取水ポンプの確認、海藻や砂利のこまめな除去による良好な取水確保に万全を尽くされたい。施設の整備から4年が経過していることから、施設を良好に維持する営繕経費等予算の確保を検討されたい。

#### ● 販路の拡大等

町内外の卸売業者や飲食関係業者との意見交換・情報収集をさらに進め、販路拡大を図るための人的体制を構築されたい。

#### ● 今後の基本的な方向性

飼育期間を3年に変更したことによるランニングコストや販売価格等を早急に比較検証し、提示されたい。

事業の現状は、大幅な赤字となっており、収益を念頭に置いた経営姿勢の必要性を指摘する。

町内での直売会・イベント等だけでなく、町外での積極的な事業展開を検討されたい。



養殖されるアワビ

## 調査事件14

## 町立診療所の経営安定化

！ 町から、町立診療所の経営状況について資料が提示されたので、内容を調査しました。

### 慎重な分析と居宅介護への対応を期待！

経営状況等については一定の理解をしたが、次の事項について検討願いたい。

#### ● 経営状況の的確な分析

令和3年度の単年度収支は赤字であり、令和4年度に看護師1名が採用となりますが、経常経費における人件費の割合は非常に大きいことから、経営安定化に向けて慎重な分析・対応が必要と思慮する。

#### ● 経営の安定化に向けた取り組み

高齢独居世帯や老々介護世帯が急増し、作業療法的居宅介護の需要が大きくなることを見込まれることから、診療所が対応することにより、地域に町立診療所と医師がより浸透し、収益を上げる経営安定化に向けた取り組みの一つとなることが期待できると思慮する。

# 連合審査会レポート

— 令和4年2月25日調査 —

連合審査会委員長 川村 明雄  
委員 佐藤 孝男 木村 隆  
杉村 志朗 藤山 大  
平沼 昌平 小鹿 昭義  
平野 隆雄 溝部 幸基

## 調査事件10

## 青少年交流センター整備事業

(他所管に関する事業)

！ 青少年交流センターは交流人口の拡大を推進するに当たり中心となる施設と位置付けられていることから、改めて町へ資料の提示を求め、調査しました。

### 屋根の形状を見直し、早い段階で施設概要の提示を！

現状のままでの事業実施への理解は難しいと思慮する。

建設課や設計業者と早急に協議を進め、次の点について検討されたい。

#### ● 屋根の形状の設計変更

切妻屋根の雪止めによる降雪堆積方式では管理が困難との懸念が払しょくされず、二重屋根構造による通気層の対処は建設単価の高騰要因ともなっている。

屋根の形状について、当初の建設コンセプト（番屋風）にこだわることなく見直しすべきと強く思慮する。

#### ● 総括意見

令和4年2月8日まで構造等の設計概要が示されず、調査した段階で実施設計がほぼ終了しているため、設計の見直しが困難。

当該施設の実実施設計は令和3年7月に発注されており、11月に行った調査時点で施設概要等を示していれば今回の状況にはならなかった点を厳しく指摘する。

大型施設の整備等に当たっては、早い段階から議会に設計概要等を説明、意見交換しながら整備を進めるよう注意されたい。

# 吉岡温泉整備事業に関する調査特別委員会レポート

— 令和4年3月29日調査 —

吉岡温泉整備事業調査特別委員長 佐藤 孝男  
副委員長 平野 隆雄  
委員 川村 明雄 平沼 昌平  
木村 隆 杉村 志朗  
藤山 大 小鹿 昭義

## 調査事件

## 吉岡温泉整備事業に関する調査

！ 新たな吉岡温泉の在り方について集中的に調査・審議するため、特別委員会を設置しました。基本設計の概要が提示され、内容を調査したので、経過を中間報告します。

### 一定の理解をするが、懸念する点もあり調査を継続！

#### ● 整備事業費

現時点の事業費の概算額は8億6千万円とのことであるが、流動的な情勢の中、物価上昇傾向が続くことが予想され、更に事業費の増加が懸念される。

事業費の積算については、適宜、積算根拠を明確にし、情報共有することが重要であり、実施設計に当たっては「切り詰める所は切り詰める」との基本姿勢を念頭に設計業者と充分協議し、国・道の有利な財源確保に努められたい。

#### ● 木質バイオマスボイラーの導入

燃料となる木質チップの必要量や町内資源量等、未確定な部分が多く、新たな生産体制の整備も必要であり、導入に当たっての課題も多く、計画を早急に整理し、森林組合等の地元業者と協議を進め、課題解決にむけた支援についても検討されたい。

#### ● ランニングコスト等に係る比較資料

切り替えによる燃料費比較、施設管理のランニングコストが未確定で添付されていないので、早急に提示するよう指摘する。

# 広報・広聴常任委員会レポート (総務教育部会)

— 令和4年3月15日・22日調査 —

委員長 平野 隆雄  
副委員長 川村 明雄  
委員 木村 隆  
杉村 志朗  
溝部 幸基  
佐藤 孝男 (15日)  
委員外議員

## 福島町文化団体協議会との懇談会

### 安全対策を講じた上で、町民文化祭の開催を！

#### ● 現状と課題

コロナ禍によりすべての事業が中止となった。令和4年度は規模を縮小してでも町民文化祭を開催する方向で考えてほしい。練習等の期間が確保できないため、開催の是非を決める会議を早い段階で開催してほしい。

#### ● 町広報でのサークル紹介

新規加入者がいないため、町広報で各サークルの紹介や参加を呼び掛けることはできないか。役場町民ホールでの作品展示なども検討してほしい。

#### ● 議会参画

議員定数を減らさなくても、人口減少が続けば、立候補者が定数に満たなくなる。

今の議員歳費では生活ができず、議員には立候補しないのではないか。



## 福島町スポーツ協会との懇談会

### 総合型地域スポーツクラブ設立の検討を！

#### ● 現状と新たなクラブ設立検討

会員減少・コロナ禍での大会中止等による活動低下でクラブ運営が困難となり、新たに体育団体を一本化する「総合型地域スポーツクラブ」設立の内部検討を始めている。

#### ● 町に対する提言

町民が屋外に出て身体を動かすことができるよう、町が主体となり、昔のように朝のラジオ体操を実施してみてもどうか。

#### ● 議会に対する要望

議会で「相撲を振興する議員連盟」を設立し、議員も小学生のスカウト等の活動をしてほしい。

#### ● 定期的な懇談会の開催

定期的な開催を望むとともに、次回懇談には、スポーツ少年団の指導者も出席してもらい、少年団の現状と課題を話し合ってもらいたい。



令和4年度

7会計予算を含む16件の議案を可決

# 一般会計予算42億7,069万3千円

\* まちづくり基本方向（総合計画）項目の順番で、質疑・応答を要約・抜粋し掲載しております。

## 予算審査特別委員会

委員長（副議長） 平野 隆雄

産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成

### ● 水産、水産加工業

**問** 小島委員 養殖アワビの事業計画が令和3年度でも赤字となつているが、赤字としなためには販売個数を増やし、販売価格を見直す必要があると考えるが如何か。

**答** 今後、販売個数を増やし、販売価格を見直していく必要性は認識しているが、単に販売するだけでなく町内における経済効果、町のPRという側面もあることをご了承頂きたい。

### ● 観光、交流

**問** 川村委員 岩部クルーズ

が認知されてきている、荒天時の対策について真剣に検討する時期ではないか。

二つの記念館を活用し、一回入るとその年は入館料が無料になるパスポート的なものを今年から検討してはどうか。

**答** 岩部クルーズは、運休の判断を迅速にし、乗客に迷惑を掛けないように努めている。記念館は顕彰施設であり、2回目以降を無料とすることでどれだけ人が入るのかという問題もあり、今の段階で無料にすることは考えていない。



岩部クルーズ乗船チケット  
(一般社団法人福島町まちづくり工房提供)

### 町民の安心安全な暮らし

**問** 佐藤委員 町内には観光案内所がない、岩部クルーズを始め、様々な施設や名勝があり、イベント等も行っているので必要と思うがどうか。

**答** 観光では町内の魅力を発信しながら人を呼び込む手法を取り入れているが、観光協会の体制がしっかりしていない現況での観光案内所設置は困難であり、色々な形で福島町の観光業の割合が多くなってきた段階で検討していく。

### 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実

### ● 地域福祉

**問** 平沼委員 全世帯への「冬のあったか応援給油券給付事業」は大変喜ばれたが、原油価格高騰が続いている状況で

もあり、今年度も同様の事業を行ってはどうか。

**答** 今冬、事業を実施したのは燃料価格が高騰したこともあるが、国のコロナ臨時交付金があったことが大きく、町単独での実施は負担が大きい。適宜対策を取る必要があるが現時点では昨年限りという形で整理している。

### ● 自然保護・環境共生

**問** 佐藤委員 白符で熊の事故が発生し、罾や電気柵、ハンターによる巡回を行ったが捕獲されていない。捕獲に向けた対応を願っていると思うが、今年の方策を伺う。

**答** 白符の事故については重く受け止めており、隣接する日向、宮歌も重点地区としてハンターには積極的に入っていただき巡視していく。



ヒグマの箱わな

**問** 杉村委員 福島川の河川改修は、今後も続くのか。河川への排雪は禁止されているが、今年のような大雪でも河川に排雪はできないという認識で良いのか。

**答** 福島川の改修については北海道より引き続き上流側に特殊堤防を建設する予定と聞いている。町河川への排雪は川幅が狭く河川が溢れる危険があり控えてもらいたい。

### ● ごみ処理、リサイクル

**問** 平沼委員 福島町のごみ排出量は渡島でも突出しているが、減量化に向けた具体的対策が見えない。令和4年度予算も減額しており、ごみ減

量化への意欲が反映されていないのではないか。

**答** 予算が減った要因は令和3年度に小学生への啓発冊子作成経費が減ったためであり、ごみの減量化については広域事務組合を中心に構成四町で対策を検討する経費を新たに計上しております。

### ● 公共交通、情報通信

**問** 佐藤委員 高齢者が免許返納後、通院等に不便をきたしている状況もあり、免許返納者対応としてデマンドバスの町内全域運用について検討されているのか。

**答** 協議会でも話が出ており、町としてもデマンドバスが代替えと成り得るのではと考えており、免許返納者への周知を図っていく。運行していない地区についても思いはあるが、運輸支局等との調整もあり時間が掛かると考えている。

### ● 住宅

**問** 木村委員 定住促進リフォームの町助成は、国や介護保険等の類似制度と併用使用が可能か。

**答** 町の要綱では想定していないので、併用が可能なのは別途検討していきたい。

学び合い、たくましい人を育てる

### ● 幼児教育、学校教育

**問** 藤山委員 商業高校への給食提供が始まるが、配達場所の設置等、高校の受入体制は準備できているのか。

**答** 昨年の11月上旬に給食提供をシミュレーションしており、搬入時間、導線の確認、食事場所を検証した結果、最終的に校長（施設管理者）の判断となりますが、正面玄関から搬入し、旧売店スペースを保

管場所として各教室に配膳することで検討している。



高校で提供された学校給食

**問** 平沼委員 昨年度の全国学力学習状況調査結果における、当町の状況と課題について伺う。

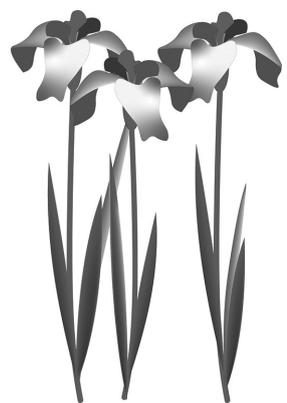
**答** 昨年度の平均点では渡島でも三番手くらいだが、基本的な「読む・書く・計算する」の部分はまだ不足しており、各学校長には分析と、ICT等を活用しながら基礎基本をしっかりと指導するようお願いしている。

協働のまちづくり・行財政運営の充実

● 財政運営

**問** 溝部議長 財政調整基金は10億円を切らないとしてきたが、大型事業等を控えている状況で、このまま継続して10億円を維持していくのか。

**答** 財政調整基金のほかに、備荒資金や目的基金もあり総額は17億円程度、予算として使用できる、新年度から青少年交流センター等大型事業が続くが補助金、過疎債を活用し、町財政を圧迫することなく、10億円のベースは守っていききたい。



令和4年度 各会計予算総額（前年対比）（単位：千円）

会計名	令和4年度	令和3年度	増減	増減率%
① 一般会計	4,270,693	4,084,846	185,847	4.5
② 国民健康保険特別会計	760,539	760,760	△221	△0.03
③ 介護保険特別会計	549,479	541,919	7,560	1.4
保険事業勘定	547,705	540,173	7,532	1.4
サービス事業勘定	1,774	1,746	28	1.6
④ 後期高齢者医療特別会計	80,647	71,897	8,750	12.2
⑤ 浄化槽整備特別会計	65,368	64,100	1,268	2.0
⑥ 国民健康保険診療所特別会計	110,237	93,224	17,013	18.2
⑦ 水道事業会計	249,015	236,473	12,542	5.3
7会計合計	6,085,978	5,853,219	232,759	4.0

# 令和4年度 第1回 議会基本条例諮問会議

— 令和4年5月16日開催 —

## 第1回会議を開催しました！

5月16日、令和4年度第1回諮問会議を議会議場において開催しました。

今年度も3回の開催を予定し、議長から諮問された事項について審議・答申いたします。

今年度から公募に加え、町内各団体から委員を推薦していただき、委員数を5名から10名に増員し、幅広く様々な分野から意見を聴取するとともに、新たに「顧問」を設置して、諮問会議の充実を図ってまいります。

(委員委嘱期間：令和4年4月1日～令和6年3月31日まで2年間)



### ● 議会参画

氏名	区分	推薦団体
本庄 丈晴	産業関係 団体推薦	水産加工振興協議会
今井 隆		農業協同組合
清水 紘太		商工会青年部
星野眞紀子		商工会女性部
阿部 祐介		漁業協同組合吉岡地区青年部
對馬 大輔		漁業協同組合福島地区青年部
松村江身子		漁業協同組合吉岡地区女性部
山本 悦子	教育関係 団体推薦	文化団体協議会
極檀 忠男 (会長)		スポーツ協会
阿部 昌彦	公 募	

### ● 顧問

氏名	区分
神原 勝	北海道大学名誉教授

### ? 諮問会議委員はどんなことをするの？

議会基本条例に基づく議会の附属機関として、次の事項について検討します。

議会基本条例見直し検討による行動計画の進行管理／議員定数・歳費／議会評価議会費標準額／常任委員会所管事務調査 ほか

### ● 令和4年度の諮問内容

#### [調査審議を求める事項]

- 議会評価（令和3年度分）  
→ 概要は24ページへ掲載しております。
- 適正な議員定数（現行10人）と議員歳費

#### [確認を求める事項]

- 議会基本条例見直しに伴う行動計画（令和3年度分）
- 常任委員会所管事務調査（社会福祉協議会の財政健全化計画）

#### [今後のスケジュール]

#### 【第2回】8月1日(月)

第1回会議の確認、常任委員会事務調査、今後の進め方

#### 【第3回】10月3日(月)

第2回会議の確認、協議事項、答申書

#### 【第4回】11月1日(月)

答申書提出

# 文書質問

！ 主体的・機動的な議員活動に資するため、議員は議長を經由し、いつでも町に対し、一般事務について文書質問を行い、関連資料を請求することができます。

## 大雪による建物等の被害状況とその対策について

質問者：川村 明雄 議員

### 議

町は新聞社の取材に、「今冬の大雪による建物等の被害状況は、空き家等で10数棟にもなり、異常」と答えているが、雪解けが進み、被害状況が明らかになりつつあります。

大きな家屋ばかりでなく、倉庫や車庫、物置やビニールハウスまで、**雪害による被害**はどの様になっておりますか。

今冬の異常な降雪を考慮し、**被害とその処理に対する支援や補助対策**を講じるべきと思いますが、**対応策**について伺います。

### 町

今冬の大雪による建物被害については、主要幹線沿い等で**一部損壊している建物は確認**しておりますが、町内全体の状況は把握しておりません。

町では、「空家等の適正管理条例」を制定し、**空家等除却補助金による自主的な空家住宅の解体を支援**しております。

倉庫や車庫、ビニールハウスまでの制度の拡充については、現時点では考えておりませんが、今年の大雪の状況を考慮すると、空家の屋根の雪が大きな問題であり、**今後新たな対策の必要性は認識**しております。

## 令和4年度 議会費の使い道

前年度より152万7千円の増額

単位：千円

区分	令和4年度	令和3年度	増減	概要
報酬	24,606	24,531	75	議員歳費、諮問会議委員報酬
給料	12,027	12,373	△346	事務局職員4名分（うち会計年度任用職員1名）
手当等	16,972	16,624	348	議員・事務局職員の期末手当
共済費	13,659	13,531	128	議員・職員共済費
報償費	307	100	207	専門的知見謝金（審査・調査）
旅費	1,623	1,703	△80	議員・事務局の出張に係る旅費ほか
交際費	200	200	0	慶弔費ほか
需用費	1,170	1,093	77	議会だより印刷製本費、消耗品費ほか
使用料・賃借料	1,263	166	1,097	ペーパーレス会議システム使用料ほか
備品購入費	158	0	158	管理用備品購入費
負担金・補助・交付金	1,682	1,818	△136	各加入団体負担金、政務活動費ほか
償還金・利子・割引料	1,083	1,083	△1	備考資金組合償還金（議会中継システム更新）
合計	74,749	73,222	1,527	* 事務局職員4名分の給料等は、「職員・会計年度任用職員給与費」に計上されているため、議会費の予算額と一致しません。

# 危険空家の緊急的被害防止費用を追加！

町議会定例会 4月会議は、4月25日に開会し、議案3件を審議、いずれも原案のとおり可決し休会しました。

町議会定例会  
4月会議

## 補正予算

令和4年度一般会計補正  
予算(第2号)

- テレビ中継局管理費  
テレビ中継局送信装置の  
修繕費追加

- 月崎地区デジタル混信  
対策事業費  
75万9千円追加

- テレビ放送の難視聴を解  
消するため、有線共聴施設  
を整備  
917万9千円

- 空家等対策支援事業費  
危険性の高い建物などの  
緊急的被害防止費用の追加  
300万円追加

単位：千円

補正額	補正後の 予算総額
14,405	4,285,810



## 条例の一部改正

町税条例の一部改正

地方税法等改正に伴う国の「令和4年度税制改正大綱」により、住宅ローン控除を見直しと、土地の固定資産税負担措置を緩和するため、条例の一部を改正。

## 町道路線の認定・変更

町道路線の認定

町道日向団地6号線整備  
工事に伴う路線網整理による  
新路線の認定。

- 路線名  
日向団地7号線
- 起点  
字日向番地44地先
- 終点  
字日向番地86地先
- 総延長  
33.80m
- 幅員  
4.00m



町道路線の変更

町道日向団地6号線整備  
工事に伴う路線網の変更。

- 起点  
字日向番地44
- 終点  
↓字日向24番地168に変更
- 終点  
↓終点字日向24番地169
- 総延長  
↓字日向460番地64地先に変更  
517.398.70m
- 幅員  
↓4.00mに3.00mに変更  
↓4.40mに4.00mに変更

読めば読むほど  
詳しくなれる！

## すゝめコラム②

### 税制改正大綱とは？

個人や法人に係る税金は、毎年、制度が見直しされており、必要に応じて改正が行われています。制度改正のたたき台となるものが「税

改正大綱」です。

政府は大綱に基づいて税制改正法案を作成し、国会での審議を通じて施行されます。

〈令和4年度税制改正大綱の主な内容〉

- 個人所得課税 住宅ローン控除特例の延長
- 資産課税 土地固定資産税の負担緩和
- 法人税課税 賃上げ促進税制
- 消費課税、国際課税、関税 など

# 会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の2月から5月までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年月日	会議・行事名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小平	平野	溝部
2月1日	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2日	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	渡島廃棄物処理広域連合議会運営委員会	－	－	－	－	－	－	－	○	－
3日	町民と議員との懇談会（町内3会場） ※中止	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4日	正副議長・委員長会議（今後の議会運営等）	○	○		○				○	○
8日	総務教育常任委員会（押印見直し・青少年交流センター）	－	－	○	○	○	◎	◎	○	○
10日	渡島廃棄物処理広域連合議会定例会	－	○	－	－	－	－	－	○	－
15日	正副議長・委員長会議	－	－	－	○	－	－	－	○	○
17日	総務教育常任委員会意見書手交	－	－	－	○	－	－	－	○	○
18日	正副議長・委員長会議	○	○	－	○	－	－	－	○	○
21日	経済福祉常任委員会（アワビ・診療所）	○	○	－	－	◎	○	○	○	○
24日	会計年度任用職員面接	－	－	－	－	－	－	－	－	○
25日	議会運営委員会	○	○	－	○	－	－	○	職	職
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育・経済福祉常任委員会連合審査会（青少年交流センター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	渡島西部広域事務組協議会第1回定例会	○	－	－	－	○	－	－	－	○
	四町議長・正副町長打合せ	－	－	－	－	－	－	－	－	○
28日	経済福祉常任委員会、連合審査会意見書手交	○	－	－	○	－	－	－	○	○
	正副議長会議（定例会3月会議議案説明）	－	－	－	－	－	－	－	○	○
3月1日	一般質問通告	－	○	－	○	－	○	－	－	職
	議会運営委員会（定例会3月会議の運営）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
4日	定例会3月会議勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8日	定例会3月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	定例会3月会議夜間議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9日	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10日	予算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11日	定例会3月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会3月会議の反省事項）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
15日	広報・広聴常任委員会（文化団体との懇談）	◎	－	○	○	○	－	－	○	○
22日	広報・広聴常任委員会（スポーツ団体との懇談）	－	－	○	○	○	－	－	○	○
23日	福島幼稚園保育証書授与式	－	－	－	－	－	－	－	－	○

年月日	会議・行事名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
25日	認定こども園福島保育所卒園式	—	—	—	—	—	—	—	—	○
26日	長谷川岳参議院議員との懇談	—	—	—	—	—	—	○	○	○
29日	議会運営委員会（定例会3月第2回会議の運営）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	定例会3月第2回会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	吉岡温泉整備事業に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会3月第2回会議の反省事項）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
31日	福島吉岡漁業協同組合通常総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
4月1日	辞令交付	—	—	—	—	—	—	—	—	○
5日	認定こども園福島保育所入園式	—	—	○	—	—	—	—	—	○
11日	吉岡温泉整備事業調査特別委員会中間報告書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
18日	福島町林野火災予消防対策協議会	—	—	—	—	—	—	—	—	職
	全国中学校相撲大会実行委員会総会	—	—	—	—	—	—	—	○	○
19日	議会運営委員会（議会評価・研修計画・諮問事項）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
22日	渡島西部四町議会議員連絡協議会理事会	—	○	—	—	—	—	—	○	○
23日	長谷川岳政経セミナー	—	—	—	—	—	—	—	—	○
25日	議会運営委員会（定例会4月会議の運営）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	定例会4月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会4月会議の反省事項）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	総務教育常任委員会（所管調査事件(案)）	—	—	○	○	○	—	—	○	○
	経済福祉常任委員会（所管調査事件(案)）	○	○	—	—	—	○	○	○	○
27日	令和4年度福島町相撲協会総会	—	—	—	—	—	—	—	○	○
28日	町民と議員との懇談会報告書・年間所管事務調査手交	—	○	—	○	—	—	—	○	○
5月11日	渡島総合開発期成会役員会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
13日	渡島西部広域事務組合第1回臨時会	○	—	—	—	○	—	—	—	○
13日	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16日	第1回議会基本条例諮問会議	—	○	—	—	—	—	—	○	○
17日	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	経済福祉常任委員会	○	○	—	○	○	○	○	○	○
18日	北海道経済連合会シンポジウム「津軽海峡経済圏を創る第二青函トンネル構想」	—	—	—	—	—	—	—	○	○
19日	町民と議員との懇談会（町内2会場）	○	○	×	○	○	○	○	○	○
20日	経済福祉常任委員会意見書手交	○	—	—	—	—	—	—	○	○
	議会運営委員会（議会だより）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	町民と議員との懇談会（町内3会場）	○	○	×	○	○	○	○	○	○
27日	議会運営委員会（定例会5月会議の運営）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	定例会5月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（定例会5月会議の反省事項）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	総務教育常任委員会	—	—	○	○	○	—	—	○	○
	経済福祉常任委員会	○	○	—	—	—	○	○	○	○
	渡島総合開発期成会総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
29日	おおさか誠二政経セミナー	—	—	—	—	—	—	—	—	○
30日	全国議長・副議長研修会	—	—	—	—	—	—	—	—	○

## 23 福島町議会だより

# 議会の評価

## — 令和3年度（1年間）の活動結果 —

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主要10項目と具体的な40項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月19日決定）が評価し、諮問会議で内容を検討して町民に公表するものです。

昨年と比べ悪化した項目等はありませんが、引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな町づくりを目指して不断の努力を続けてまいります。

評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達していない」 ▲＝「取組が必要」

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			R3評価	摘 要
		H30	R元	R2		
1. 議会の活性化	①一般質問（人数・項目件数）	△	○	△	△	R3年度の一般質問件数は15人・16項目であり、昨年度に比べ質問者の延べ人数は同数だが、項目は1項目増加した。1定例会平均質問者数3.8人（37.5%）（全国6.0人（51.1%）、全道4.6人（42.0%）、渡島管内4.1人（33.8%）となっている。より積極的な一般質問への取組が必要である。
	②質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、常任委員会、予算・決算審査特別委員会等での審議を活発に行っている。引き続き質疑内容を充実する。（平均質疑者・回数：定例3.3人7.3回、定例外1.0人1.5回、委員会3.8人14.8回）（平均意見交換者・回数：定例1.8人3.8回、定例外1.0人1.5回、委員会3.4人11.2回）
	③討議・討論（本会議）	△	△	△	△	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き「議員間討議要綱」に基づき、論点・争点を明らかにした討議・討論への取組が必要である。（R2＝0件、R3＝0件）
	④討議（委員会）	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。（R3開催日数：常任委員会＝16日、特別委員会＝8日）
	⑤議員提案	○	○	○	○	一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見を常任委員会で検討しているが、所管調査として取組む事案はなかった。所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されている。
	⑥文書質問	△	△	△	△	質問が特定の議員に偏っており、項目数も低下傾向が続いている。政策提案等に向けた文書質問への取組が必要である。（R元＝実1人、5項目 R2＝実1人、4項目 R3＝実1人、2項目）
2. 議会の公開度	①会議の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継・録画配信を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議前の会議資料の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。（議場・ホームページ）
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・ホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実（ライブ中継）	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。町民からの要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能（R元からライブも視聴可能）となっている。全道＝81議会（議会中継実施）
3. 議会の報告度	①議会だより・速報版等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H28.6月発行分からは文字サイズを拡大している。第36回町村議会広報全国コンクールにおいて、R3.6月発行の議会だより第130号が「言語・文章部門」で奨励賞を受賞した。全道＝単独発行125議会
	②議会ホームページの運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアルしている。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP＝130議会
4. 住民参加度	①各種団体との懇談会の開催（常任委員会の活動）	△	△	△	○	新型コロナの感染拡大による経済活動の低迷、団体活動の自粛により疲弊している町内産業・文化・スポーツ団体の現況・課題等を把握するため懇談会を実施した。[懇談会：R元＝1回、R2＝0回、R3＝9回]
	②町民と議員との懇談会の開催（議会報告会）	○	○	○	○	R3も議員を3班に分け町内会単位で実施したが、町内から新型コロナウイルス陽性者が出たため3日目以降の開催を延期した。引き続き懇談内容の充実への取組が必要である。（R2＝6日間・17会場98人、R3＝2日間・6会場24人）全道＝39議会
	③参画者への対応と参加度	○	○	△	△	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。（R2＝定例9人、平均2.3人 定例外9人、平均1.3人）（R3＝定例10人、平均2.5人 定例外3人、平均0.8人）（全道平均＝定例7.1人、定例外1.1人）
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会（定例）を開催している。（参画者 R2＝3人、R3＝4人）全道＝夜間 4議会、休日3議会

\* 「討論」とは、議会の本会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対の議員個々の意思を表明すること。

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			R3評価	摘要
		H30	R元	R2		
5. 議会の民主度	①一般質問の改善（一問一答方式、回数・時間制限廃止）	○	○	○	○	一問一答方式を実施している（H12）。質問回数・時間の制限規定を廃止している（H20）。全道=117議会（一問一答方式採用）
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している（H6）。全道=132議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるよう改善に努めている。
	④議会における選挙の改善（正副議長選挙での所信表明）	/	/	/	○	正副議長選出の際の所信表明を福島町議会基本条例（H20）で規定している。
6. 議会の監視度	①長との適正な関係の維持（議員の政治倫理に関する取り組みの経過）	○	○	○	○	議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定（H20）、条例内容を拡充した議会議員政治倫理条例を制定（H30）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点等を文書にまとめ、行政側に手交し説明している。常任委員会所管事務調査で取りまとめた調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換することで委員会の意向が政策に反映されている。
	④一般質問等答弁事項の追跡調査	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。（追跡調査件数R元=1件、R2=1件、R3=4件）
7. 議会の専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換している。〔R3調査件数24件〕
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・吉岡温泉整備事業 ・青少年交流センター整備事業 ・簡易水道事業における水道料金の見直し ・社会福祉協議会の財政健全化計画等 令和2年度決算に基づき68件（総務教育常任委関連39件、経済福祉常任委関係29件）の事業について行政評価をした。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。継続的に見直しを行っており現在の議決対象計画等は13件となっている。（令和3年度は新たに追加・削除した議決対象計画等はなし。）
8. 事務局の充実度	①議場等の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備（R元）、議場等音響設備（H28）の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。 R3.12月からは議会のICT化とペーパーレス化のためタブレット端末を導入した。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上などに取り組んでいる。職員体制は正職員3人、会計年度任用職員1人で充実している。
9. 適正な議会機能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定、平成30年度に見直している。 （当初標準額=3,184千円・H30見直し標準額=4,355千円、R3予算4,434千円）
	③議会の自主性強化	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を会期（期間）とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成30年度に全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定（議会参画条例・政治倫理条例等）
	④議会付属機関の設置（議会基本条例諮問会議）	○	○	○	○	議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。諮問会議条例の改正（R4.1）；諮問委員数を5名から10名に増員。（産業・文化・スポーツ団体等の推薦、公募）
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会へのリンク等）
	⑥条例の制定・改正	/	/	/	○	・福島町議会基本条例諮問会議条例の一部改正（1月会議）諮問委員の拡大と新たに「顧問」を設置できるよう改正 ・押印手続きの見直しに伴う関係条例の整理（3月会議） 国の押印見直しの方針に基づき関係条例を改正
10. 研修活動の充実強化	①研修の効率的な取り組み	○	○	△	△	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告し情報共有を図っている。R2年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に伴う往来自粛が継続され、政務活動費を活用した共同視察研修は実施できなかった。
	②視察受入れ市町村等	/	/	/	○	R3年度は新型コロナウイルスの感染拡大による自粛もあり、視察の受入はなかった。（R元=岩手県葛巻町議会ほか4自治体、R2=七飯町議会）

### ！ 議会評価に対する諮問会議意見

議会運営委員会による議会評価について、数年にわたって水準に達していない評価が見受けられるので、改善するための対策、また、一定の水準を継続していくための方策等を検討し、議会だより等を通じ町民へ伝えるよう望む。

# 評価概要

# 「議員活動の自己評価」

令和3年度分（令和3年4月～令和4年3月）

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で17回目となります。右表の5主要指針に基づいて具体的に取り組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の161項目中、「○ほぼ満足」が61件で38%、「△努力が必要」が89件で55%、「▲さらに努力が必要」が11件で7%となりました。

次に、「成果の評価」については、項目全体の161項目中、「○ほぼ満足」が34件で21%、「△努力が必要」が78件で48%、「▲さらに努力が必要」が49件で30%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が37%ですが、成果の評価では21%と大きく差があります。

今後も各議員の取り組みが今まで以上に成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、1名の議員から報告がありました。

## ● 自己評価の指針

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）、討論などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、質疑・意見交換・討議（発言）、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

## ● 議員別の評価集計

議員名	佐藤 孝男		平沼 昌平		木村 隆		川村 明雄	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	6	4	11	8	10	8	3	2
△ 努力が必要	9	9	5	5	4	6	18	11
▲ さらに努力が必要	0	2	0	3	0	0	0	8
計	15	15	16	16	14	14	21	21

## ● 議員個人としての活動

	溝部 幸基
報告会等の実施	1
議員だよりの発行	—
個人ホームページの開設	○
その他	—

議員名	杉村 志朗		藤山 大		小鹿 昭義		平野 隆雄		溝部 幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	5	3	12	6	4	0	1	1	9	2	61	34
△ 努力が必要	8	4	6	12	7	9	14	10	18	12	89	78
▲ さらに努力が必要	0	6	0	0	2	4	3	7	6	19	11	49
計	13	13	18	18	13	13	18	18	33	33	161	161

\* 分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「成果」＝成果の評価

教えて！

## ぎかいのコトバ 議員活動の目標（公約）とは？

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、9名の議員で総数項目161項目（昨年度：10名提出 166項目）となりました。

\* 個人票はP31～P34に掲載しています。



# 「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」、  
▲＝「さらに努力が必要」  
評価期間：令和3年4月～令和4年3月



佐藤 孝男 75歳

議員歴27年  
経済福祉常任委員長  
議会運営委員  
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	若者定住対策と雇用対策	△	△
	大型公共施設の整備と改修の提言	△	△
財政	財政健全化の推進（基金有効活用）	○	○
	各種事業の検証	○	△
経済	陸上養殖アワビ販売と商品開発の推進	△	▲
	一次産業の振興と新規就業者の育成	△	△
	ほだ木確保のため町有林調査、作業路の整備	○	▲
福祉	社会福祉協議会の健全運営の調査と提言	△	○
	予防医療の推進	△	△
	吉岡温泉早期新築の提言	○	○
教育	給食センターでの地場作物の利用強化	△	△
	福島商業高等学校存続対策の推進	○	○
その他	第2青函トンネル構想に向けての推進	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	各種行事の積極的な参加	○	△



平沼 昌平 66歳

議員歴17年  
議会運営委員長  
経済福祉常任委員  
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	雇用の場の創出と定住、多拠点としての移住促進の提言	○	▲
	IT化による行政資料の簡略化と町内外での活用についての提言	○	○
	将来的雇用人口減による外国人研修生受け入れの体制整備の提言	○	○
財政	効率的な事務事業の提言と検証。それらに伴う、更なる提言	△	△
	歳入最終予算の算出根拠に対する検証と確認等に伴う提言	○	△
経済	新たな養殖事業の模索と高齢化を視野に入れた前浜漁業の模索提言	△	▲
	農林水産業の少量高価値製品の1次から6次化産業の模索と町内雇用の創出に対する提言	△	△
	商工・観光の両面による町内経済活性化の提言と地場産品の開発に対する提言	○	△
福祉	人口減少からくる自助・共助・公助の在り方と行政事業に対する再確認。また、将来的な高齢者福祉事業の進め方について提言	○	○
	ウイルス、地震、異常気象による洪水等の災害に対する危機管理から来る対応について提言	○	○
教育	小学校統廃合に対する環境整備と小学校教育環境の充実に提言	○	○
	小中高一貫校的環境整備と充実したいIT化。国際力のある環境の提言	△	▲
	子育て環境に対する共助環境の充実と公助の在り方等検証と提言	○	△
その他	定例会前の勉強会の充実と議会活動の広域化	○	○
	第2青函トンネル実現に向けた活動と町内外に向けた情報発信活動	△	○
	松前・福島間の新たな広域道路建設の提言	○	○



「第2青函トンネル構想を実現する会」のパンフレット

## 読めば読むほど 詳しくなれる！ するめコラム③

### 第2青函トンネルとは？

津軽海峡に新たに掘られる可能性のあるトンネルです。現在の青函トンネルは、在来線の貨

物列車と共用する区間があることから、最高速度がおさえられていますが、実現することで課題が解決し、新幹線の速度向上につながります。

青函トンネル工事基地であった福島町が「第2青函トンネル構想を実現する会」を設立し、構想実現に向けた情報発信等の取組が行われています。



**木村 隆 42歳**

議員歴15年  
総務教育常任委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	産学官の新たな展開、調査	△	△
	地域起こし協力隊の新たな可能性	△	△
財政	コロナ感染予防、景気対策等財政出動	○	○
	ふるさと納税向上の取り組み	○	△
経済	子育て住宅などの注視	○	○
	新種苗センター等育てる漁業政策	△	△
	コロナの影響による外国人実習生の情報収集	○	○
福祉	コロナワクチン対策	○	○
	保育士等子育て人材の確保	○	○
	吉岡温泉建替への注視	○	○
	高校魅力向上政策	○	○
教育	プログラミング講座の注視	○	○
	中学校教科書改訂の対策（英語、ALT）	△	△
その他	第2青函トンネル構想推進	○	△



**川村 明雄 76歳**

議員歴14年  
総務教育常任委員長  
議会運営委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	松前半島道路計画推進	△	△
	第2青函トンネル構想の推進	○	△
財政	道の駅構想への考察提言	△	△
	各基金の有効活用	△	△
	町内経済活性化対策	△	▲
経済	コロナ禍にあり「入りを量りて出づるを為す」視点注視	△	▲
	各種産業の維持発展施行	△	△
	林産業の開発促進	△	▲
	地場産品の開発、ブランド化対策	△	▲
福祉	高度福祉対策への人材育成	△	△
	高齢者の定住維持対策	△	△
	超高齢化へのあるべき福祉対策の考察	△	△
教育	福島商業高等学校の存続維持対策	○	○
	教員の働き方改革	△	▲
	小中高一貫教育の魅力ある学習の考察	△	▲
その他	町民要望に対する考察、実現	○	○
	若者・外国人世帯の受け入れ対策	△	▲
	若年層の文化活動の推進	△	△
	本公約の他これまで掲げた公約の点検、実現考察	△	△
	観光視点でのまちづくりへの町民理解と意識醸成	△	△
	中古住宅利活用対策の考察	△	▲



**杉村 志朗 73歳**

議員歴23年  
総務教育常任委員  
渡島西部広域事務組協議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	新型コロナウイルス感染症対策徹底の実現	○	○
	異常な積雪による高齢者への配慮の対応	○	△
財政	町立診療所運営の健全化体制の確立	△	▲
	町民が安心できる財政の健全化の取組	○	○
経済	種苗生産施設整備基本構想の推進	△	▲
	滞在型の体験観光旅行（岩部クルーズと連携）	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	高齢化と人口減少問題の支援	△	▲
	思いやりのある高齢者への福祉対策	△	△
教育	福島商業高等学校入学者に対する継続的、安心な運営	○	△
	小中学生のスポーツ活動の支援	△	△
その他	空家住宅の計画的減少対策	△	▲
	他町に誇れる花・花壇の美化対応	△	▲
	運転免許証返納者への対応	△	▲



**藤山 大 47歳**

議員歴 9年  
経済福祉常任副委員長

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	○	△
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	△	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	△	△
経済	一次産業のさらなる発展への提言	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	○	△
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	○	△
	新型コロナ感染症対策（人的・経済支援）	○	○
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
	福島商業高等学校存続対策	○	○
教育	今後の小学校のあり方（福島小学校と吉岡小学校の）	○	△
	文化・伝統を後世に残るための取り組み（四々散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	○	○
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果が期待できるイベント集客力を目指すための提言	○	○
	松前半島高規格道路整備の推進	△	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	○	△
	インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter、Zoom）	○	○

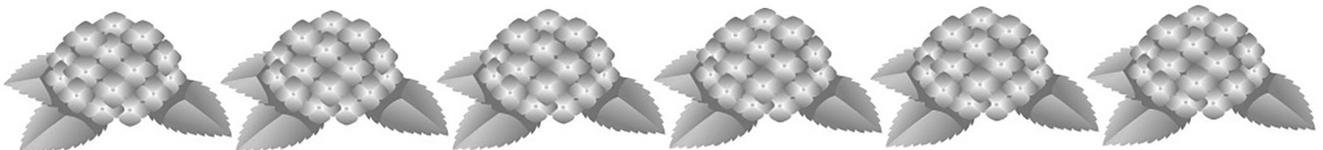


**小鹿 昭義 69歳**

議員歴 2年  
経済福祉常任委員  
議会運営委員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第2青函トンネルの構想実現	△	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言	△	▲
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進	○	△
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進	▲	▲
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	○	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	▲	▲
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	▲
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	△





**平野 隆雄 73歳**

議員歴26年  
副議長  
広報・広聴常任委員長  
総務教育・経済福祉常任委員  
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現の活動推進	△	▲
	町内景気の活性化推進で交流人口増	△	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
財政	財政調整基金の活用	△	△
	町立診療所運営の健全経営実現	△	△
	各町内会館の再編推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	養殖コンブ製品増の推進	△	△
	蝦夷アワビ（養殖）の新たな商品開発推進	△	▲
	スルメ加工以外の商品開発推進	▲	▲
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	△	▲
	吉岡温泉ゆとらぎ館新築の早期実現へ	△	○
教育	がん検診の検診率向上推進	△	△
	少子化の中の教育行政推進	△	△
	学芸員配置で縄文土器等による町づくりで交流人口増	△	▲
その他	福島商業高等学校入学増の推進	△	△
	学校等における相撲人口増で横綱の里推進	▲	▲
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	△	△
	伊能忠敬公園の観光客増に向けたPR推進	▲	▲



**溝部 幸基 74歳**

議員歴41年  
議長  
総務教育・経済福祉常任委員  
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）	○	△
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査研修	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	▲	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	△	▲
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	△	△
	「平和の町宣言」に関する調査研修	▲	▲
	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△
財政	財政健全化への取り組み（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）	○	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	監査制度の検証（議選監査委員・議会監査の在り方）	○	○
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設	△	▲
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
経済	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取組む産業公社的仕組みづくりの調査研修	△	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修	△	▲
	「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減	△	▲
	公立診療所の在り方に関する調査研修	○	▲
	在宅介護支援体制の整備	△	▲
教育	簡易水道料金の見直し（用途別基本水量・水道料金）	△	△
	小中学校一貫教育、コミュニティスクールに関する調査研修	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集）	△	▲
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）	△	△
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	○	△
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	○	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ	▲	▲
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	△	△
各種行事、研修への積極的な参加	△	△	

# 議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：令和4年4月～令和5年3月



佐藤 孝 男

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	若者の定住と雇用の場の推進 大型商業施設に向けての提言（吉岡温泉ゆとらぎ館、種苗センター）
	財政健全化の推進
経 済	一次産業の振興と新規就業者の育成 ほだ木の確保のため町有林調査、作業路の整備
	町立診療所の健全運営 予防医療の推進
教 育	学校給食での地場産物利用強化
	食育の取組み推進
	体験学習の推進
その他	町民との懇談、各産業団体懇談会を通して議会活動に役立てる
	第2青函トンネルの実現に向けての推進
	松前半島道路の早期実現に向けた推進
	各種行事の積極的参加



平 沼 昌 平

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動
	IT環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進
	防災対策と危機管理の提言
財 政	財政健全化に対する効率的な財政運営に対する提言
	有利な財源を使った町内経済の活性化等の提言
	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言
経 済	農林水産業の担い手対策と町内雇用の創出（地元企業の雇用環境の充実を含む）
	地場産品の開発と研究・異業種とのマッチングを進める人材・団体の助成
	地場産品の地産地消に向けた自立循環システムの構築に対する提言
福 祉	新型コロナウイルスに対する感染対策とウィズコロナの対応に向けた取組の提言
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言
	健康福祉の向上と医療費抑制に対する提言（がん検診の向上）
教 育	ゆとりのある子育て環境の充実と英語教育の充実
	小中高一貫教育の在り方とIT教育の充実
その他	議会議員の魅力化と町民参画型議会活動の充実（議員のなり手不足対応に向けて）
	松前・福島間の現国道に対する防災対応の迂回道路建設に向けた提言 鳥獣駆除に対する環境整備と担い手確保に向けた提言



木 村 隆

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	防災無線の役割の検証
	産学官の新たな展開、可能性を探求
	第2青函トンネルの活動推進
財 政	大型公共事業に伴う財源の確保
	コロナ交付税を利用した景気循環政策
	ウッドショック、円安など物価上昇に伴う対策
福 祉	介護従事者の作業効率を上げる仕組み作り
	国保税統一化に伴う影響を注視
	ゴミ減量化施策
教 育	コロナ禍における学校教育の充実
	高校の町外生徒受け入れ対策
	プログラミング教育講座の再考
その他	子育て環境の充実



川村明雄

分野	具体的な目標項目
行政	ゼロカーボン対策の推進
	第二青函トンネル構想の推進
	道の駅構想への考察提言
財政	各基金の有効活用
	町内経済活性化対策
	特別職の財政負担考察
経済	陸上養殖アワビ生産拡大対策
	寄付された森林等の活用施策と林産業の開発促進
	地場産品の開発、ブランド化対策
福祉	障害者の雇用促進
	シルバー人材センターの考察
	がん検診受診率向上対策
教育	福島高校の魅力開発対策
	教員の働き方対策
	小中高一貫教育の考察
その他	町民要望に対する即時対応
	若年層の文化活動の推進
	今冬の除雪被害建物の解体
	ウクライナ国民難民受け入れ計画
	町内公衆トイレの美化対策
	中古住宅活用対策の考察



杉村志朗

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想の早期実現の推進
	景観が損なわれる空家住宅の調査
	安定的定住対策の推進
財政	コロナウイルス後による町内景気の回復
	町内診療所の経営黒字化の実現努力
経済	町内スポーツ施設利用者増に期待
	養殖アワビ飼育の安定営業
福祉	少子化対策と高齢者医療の充実
	社会福祉協議会の健全運営
教育	地元、小、中学生とのスポーツ活動の支援
	福島商業高校における募集成果に期待
その他	松倉地区の水田跡地の活用
	運転免許証返納者への対応

読めば読むほど  
詳しくなれる!

## するめコラム④

### ゼロカーボン(カーボンニュートラル)とは?

企業や家庭から出る温室効果ガスを減らし、森林による吸収分などと相殺して排出量をゼロにすることをいいます。

政府では、2050年までにゼロカーボンを達

成することを目標とし、温室効果ガス排出量の削減のほか、太陽光・洋上風力などのクリーンエネルギーの活用、地域の自然資源を生かした吸収源対策の強化などを図る計画です。

### ❓ 私たちにできる取り組み

自家用車を使用せず、公共交通機関を利用／食品ロスを減らす／電気をこまめに切る／家電を省エネのものに買い替える など



藤山 大

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
財政	優先順位を持った財政運営の推進
	町立診療所健全経営推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成
	新型コロナウイルス感染症対策（人的・町内経済支援）
	B級グルメ等福島町の良さをPR強化
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	福島商業高等学校存続対策
	今後の小学校のあり方（福島小学校と吉岡小学校の統合）
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）
	豪雪・暴風（災害）による休校時のzoomを活用した自宅授業を提言
その他	今後の「道の駅」のあり方
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	松前半島高規格道路整備の推進
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）
	インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter、Zoom）
	吉岡温泉の予算を含めたチェック



小 鹿 昭 義

分野	具体的な目標項目
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言
	第2青函トンネルの構想実現
	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進、町関係施設の黒字化を提言
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立を推進
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言
その他	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む



平野 隆雄

分野	具体的な目標項目
行政	第二青函トンネル構想実現の活動推進
	町内景気の活性化推進で交流人口増
	福島川改修事業の早期実現
財政	財政調整基金の活用
	町立診療所運営の健全経営実現
	各町内会館の再編推進
経済	養殖コンブ製品増の推進
	スルメ加工以外の商品開発推進
	アワビカレー更なる生産増
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館新築の早期実現へ
	がん検診の検診率向上推進
教育	少子化の中の教育行政推進
	学芸員配置で縄文土器等による町づくりで交流人口増
	青少年交流センター建設の推進
その他	学校等における相撲人口増で横綱の里推進
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進 木古内、知内、福島、松前に高規格道路整備の推進



溝部 幸基

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (各種計画に関する提言・検証)
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査
	「公契約条例」に関する調査研修
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等)
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)
	「平和の町宣言」に関する調査研修
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
財政	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進
	財政健全化への取り組み (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)
	退職手当制度の抜本的改善

分野	具体的な目標項目
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発 (ブランド化システムの再検討)
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業公团的仕組みづくりの調査研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査
	「健康な町づくり」(全町的取組)で医療費の節減
	公立診療所の在り方に関する調査研修
	在宅介護支援体制の整備
教育	簡易水道料金の見直し(用途別基本水量・水道料金)
	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進
その他	食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現 (議会基本条例の周知)
	活発な討議(討論)ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	ホームページの充実(提案・情報発信・参加型) 各種行事、研修への積極的な参加

## 町民と議員との懇談会

「町民と議員との懇談会」は、町民に対する説明責任を果たし、情報を共有するため毎年開催しております。

令和3年度の懇談会は町内で新型コロナウイルス感染者が出たため、2月1日、2日のみの開催となりました。

## 2月1日(火)

### 松浦・吉野地区



- 道の駅について  
冬場は人が入らないので福島にあった大きさやほかの施設との統合が良いと思う。

### 館崎1・2・3地区



- 第2青函トンネルについて  
第2青函トンネルの推進は福島町だけでなく、青森側でも進めてもらわなければならないのではないか。

### 豊浜・宮歌地区



- 防災について  
冬の避難路は、雪で使えない現状なので、ある程度津波対策を考えてほしい

## 2月2日(水)

### 吉岡1・2・3地区



- 議会ホームページについて  
会議資料の公開を当日ではなく、前もって公開することはできないか。

### 白符地区



- 有害鳥獣について  
白符で事件を起こした熊は、まだ捕まっていないと聞かすが、今後の対応は。

### 上町・本町・川原町地区



- 青少年交流センターについて  
子どもの絶対数が少ないので、高校生以外の利用も考えてほしい。

## 町民の声

### 普通に暮らす



福島町商工会事務局長  
齊藤 昌

社会に出るまで何不自由なく育ててくれた「両親」や、社会人になつてからは五つの商工会にお世話になりましたが、各商工会の會長をはじめとする「役員」の皆様など、周囲の方々に支えていただいたおかげで今の私がいます。とても感謝しております。

自分のモットーは「やる時はやる」「ONとOFF」です。当たり前のことですが仕事は一生懸命にやるが、休日は仕事のことを忘れて楽しむ。楽しみは、月曜日・火曜日を休刊日にして中弛みになりがちな仕事の中日の水曜日の夜を楽しみにすること、週末のゲームです。

世の中の進歩についていけない私ですが、これからも感謝の気持ちを忘れずに小さな楽しみを作りながら普通に暮らしていきたいと思っております。

## 議員の雑感

### 戦争と平和について



議会運営委員長  
平沼 昌平

ロシアによる突然のウクライナ侵攻は、私の様な平和ボケした者には、とんでもない出来事でした。戦争を知らない我々世代は、戦争の悲惨さを体験者からよく聞きますが、「聞く」と見る」では大違いで、改めて、平和の価値を身に染みて感じました。いつ何がどのような状況で普通の生活を脅かすのか。それは、戦争でなく災害かも知れない。

身も心もズタズタに疲弊する事が起こった時、互いに出来る事が助け合う事を確認しておく事の大切さを思い知らされました。私たちは、自分の国や町をウクライナ国民の様に愛しているだろうか。助け合っているだろうか。「勿論、当たり前だろう」と叱られそうですが、その思いの厚みはどうなのか、再確認しなければと思っております。

## 主な会議・行事予定

### 6月

● 渡島西部広域事務組合第2回臨時会  
6月1日(水) 午前10時  
議会議場

● 渡島廃棄物処理広域事務第1回臨時会  
6月2日(木) 午後2時  
北斗市

● 渡島西部四町議員連絡協議会スポーツ大会  
6月4日(土) 木古内町

● 一般質問通告  
6月13日(月) 午前10時～午後2時  
議会運営委員会

● (6月会議の運営ほか)  
6月13日(月) 午後3時  
議員控室

● 北海道議長会定期総会  
6月14日(火) 札幌市

● 町議会定例会 6月会議  
6月20日(月)～21日(火)  
議会議場

### 7月

● 全道町村議員研修会  
7月6日(水)～7日(木)  
札幌市

● 議会運営委員会  
(議会だよりほか)  
7月19日(火) 午後1時30分  
議員控室

● 渡島西部四町議員連絡協議会視察研修  
7月20日(水)～22日(金)  
青森県ほか

## 編集後記

令和4年度が始まり2か月が経過しました。卒業、入学、就職、転職など、環境変化の多い2か月でしたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。特に、初めて就職された方は、仕事と職場の雰囲気、期待を抱きながらも緊張の日々と思います。

私も、議会事務局へ異動となり、環境が変わりましたが、前部署での「広報ふくしま」担当経験を活かし、再び紙面を通じて皆様へ町の情報を発信できることを、とても嬉しく思っております。より親しみやすく、わかりやすい「議会だよりふくしま」の作成に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。(大山)

8月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会6月会議を中心にご紹介する予定です



北方領土返還要求運動シンボル「千島桜」